

令和4年9月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

新型コロナウイルスのワクチン接種や市のイベントなどについて市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 広域道の駅オープン予定が令和5年となっているが、もう少し詳しい時期と、経営母体はどうなるのか、教えてほしい

市 今年度中には完成予定であるが、オープンは4月1日ではなく、4月の中旬以降、GW前にはオープンしたいと考えている。指定管理は、シダックスである。調整をしながら日程を決めていきたい。運営母体は、4市町村で経費負担をしながら進めている。補助申請や建築確認などの手続き関係は久慈市で行っている。

記者 岩手県が3月末に発表した新たな想定について、被害想定が延期されたが、ハザードマップの改定作業や避難場所について教えてほしい。

市 3月に岩手県が公表した進捗状況だが、現在更新作業を行っている。年内12月中にはデータを完成予定である。その後印刷した後年度内に全世帯に配布したいと考えている。進捗率は、現在6～7割程度と思われる。岩手県の津波想定についてだが、報道になるように今月末とされているが、具体的に示されていない。ただ、周知方法は今後広報やHPで行いたいと思っている。この件は、ハザードマップにはレイアウトは決めていないが周知を検討しているところである。

避難場所の見直しは、進めている。反映させたのも4月1日から運用させていただいている。更に今年度も追加になる予定となっている。その分は来年の4月1日で一覧作成して皆さんにお届けするというようにしている。避難所を含めた見直しを進めている

記者 被害想定をハザードマップに盛り込むことか。

市 実際、浸水想定図に盛り込むのは中々難しい。周知はどういった形になるかレイアウトはこれから検討したい。

記者 9月8日開催の避難訓練に係る参加地域向け説明会は、10月16日の避難所に向けての説明会か。

記者 今年度の避難訓練は、県の浸水想定を基に開催するので、範囲が広がる。町内会と自主防災組織への説明会になる。

市 VR認知症講座の主体はどこになるのか。

地域包括支援センターになる。前年度より取り組んでおり、認知症予防と認知症理解ということで、学校でも活動を増やしている。

記者 三陸沿岸道路八戸で完成式典があり、市長が出席したようだが、道の駅や三沿道の具体の話をしてきたのか。

市 私からは、広域道の駅と八戸～久慈間のバスPRをしてきた。宮古～仙台間1日2便走っていると紹介があった。お互い連携した取り組みを進めて行かなければならないと思っている

記者 八戸市長の反応はどうだったか。

市 八戸市にとっても有効だという話をいただいた。

記者 道の駅の進捗率は、どのくらいか。

市 4割程度だが、計画通り順調に行っている。

記者 浸水想定に関連だが、5月に特別措置法が改正となり、特別強化地域の指定もあるようだ。国の動きが見えていないが、自治体として補助率やサポートなどどのように受け止めているか。

市 国からは秋から地区指定をすると聞いているので、間もなくではないかと思っている。県の担当部署からは「県内の沿岸市町村、すべて該当するでしょう」と話をいただいている。避難所や避難施設、避難道路関係など国の支援が3分の2と聞いている。国への要望、財務大臣含め残りの3分の1の支援もお願いしたいと再三話をしてきた。負担が3分の1でも合わせれば大きな額になるので、それを負担できる、できないで市町村間で対応に差がないように、交付税措置などといった面で是非検討してほしいとお願いをしてきている。そこは非常に大事な部分だと思っている。

記者 そこが十分手当てされないと、補助金以外の方法だと自治体は動きづらいといった感じなのか。

市 市役所の移転も含めだが、市役所の建設関係だけでも数十億となる。その3分の1を市で負担するのは厳しいものになる。これからも国に対しては強く求めている。